

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

大川原駅舎をきれいにしました 財部北中



11月15日、財部北中学校の全校生徒（12名）と職員（8名）で大隅大川原駅舎の清掃を行いました。

財部北中では、月に一回程度、クリーンタイムという時間を設け校内の美化活動を実施していますが、今回はそれを地域のボランティア活動にまで広げたものです。

当日は、好天に恵まれ、駅舎のトイレ掃除やイチヨウの葉の清掃・窓ふき・草取り・花植えなどの班に分かれ熱心に作業をしました。

駅舎は今年3月に完成したばかりですが、一部クモの巣などで汚れていました。しかし、今回の清掃でとてもきれいになりました。

3年生の満重義昭君は、「落ち葉が多かったけど、掃いているうちに楽しかった。高校生になったら、駅を時々利用したい」と言っていました。

「^{いっ}ぷくめし」 鹿児島県特産品協会理事長賞受賞



11月12日、財部町の(株)ポルトオン^{ひと}ぷく美の徳石さんと鮫島さんが、鹿児島の新特産品コンクールで県特産品協会理事長賞を受賞した事の報告にと市長室を訪問しました。

このコンクールは、売れる商品・新しい観光土産づくりを促進するため県が毎年行っているものです。今回、一ぷく美さんの出品した「一ぷくめし」が食品部門（一般）の88品目が出品された中で、知事賞・市長賞に次いで3番目の賞である協会理事長賞に輝きました。

「一ぷくめし」を出すきっかけになったのは、お店でメニューとして出していたチャーシュー丼が運転手さん等の間でとても好評で、忙しい方にも車の中で手軽に食べて貰うことは出来ないかとにぎりめし風に改良したものだそうです。

今後新幹線開通記念イベントや空港などでも販売され、鹿児島の名物特産品になっていくかもしれません。ぜひ皆さんも今のうちにご賞味してはいかがでしょうか。

元気で、おおきくなーれ！！



11月18日、末吉総合体育館で、子育て支援センターが主催する毎年恒例のミニミニ運動会が開催されました。

この運動会は、乳幼児を持つ子育て家庭の方々を対象として行われたもので、かけっこやハイハイ競争、玉入れなど楽しいプログラムが盛りだくさんで親子そろって楽しいひとときを過ごしているようでした。

ハラハラ、ドキドキしながらも、わが子の成長ぶりを穏やかな笑顔で見つめるお母さん方の姿に親子のぬくもりを感じました。

あどけない笑顔を見せてくれるかわいい子どもたちが、これからも元気ですくすくと成長してくれることを願っています。

平和への願いをこめて



10月26日、市戦没者追悼式が財部きらめきセンターで挙行されました。式には、遺族や関係者など、約500人が参列し、戦争の犠牲になった市出身戦没者の御霊に哀悼の誠を捧げました。

池田市長は、式辞の中で「先の大戦から学びとった多くの教訓を改めて深く心に刻み、世界の恒久平和の確立と心豊かに暮らせるより良い社会の実現のため、全力を尽くしてまいりますことを、お誓い申し上げます」と述べました。

その後、来賓による「追悼のこぼし」に続き、代表者による献花と同時に参列者一人ひとりが戦没者の冥福を祈りました。

活気と潤いのある発展を遂げたこの日本国、平和と繁栄の陰には戦争による多くの尊い犠牲があったことを後世に伝えるべきであり、戦火のない平和への誓いを新たにしました。

半世紀の絆を振り返り



10月19日、曾於市末吉総合センターで「合同金婚式」および「ひとり金婚者の集い」が開催され、結婚50年を迎えられた77組の金婚者と11名のひとり金婚者の方々が出席されました。

池田市長は地域の発展のために共に頑張ってこられたご夫婦のご苦労やご貢献に敬意を表し、今後ますますのご健康と長寿をお祝いしました。

また、出席者を代表して中西貞利さんが「長いようで短い50年間でした。夫婦はもともとは他人でしたが、長い間一緒に暮らしてきて、それが親子よりも兄弟よりも身近な関係となり、その重みを改めて感じています。これからも健康に留意をして新たな歴史を築いていきたい」と謝辞を述べられました。

農業の振興のために…



11月29日、農業委員会の池田一信会長らが市長室を訪れ、「曾於市農業振興政策についての提言書」を提出されました。

この提言書は、曾於市農業委員会から市当局に対して毎年提出されているもので、今年も、TPP参加反対要望と耕作放棄地対策についてをはじめ、畜産農家の支援、優良種雄牛の作出、食育の推進と地産地消、担い手の育成確保、飼料米等対策についての全6項目が盛り込まれた提言書を池田市長へ手渡しました。

池田市長は、それぞれの項目ごとに問題点や課題点を話した後、「いただいた提言書をもとに、十分検討して、前向きに取り組んでいきたい」と話しました。

オータムコンサート 2010 in 笠木



11月28日、メセナ楽団主催の「オータムコンサート 2010 in 笠木」が大隅町笠木小学校体育館で開催されました。

このコンサートは、メセナ楽団が各地域に出向いて地域の皆様に吹奏楽の楽しさを知って頂きたいと、昨年からは始めたものです。

当初7月始めに七夕コンサートとして予定していましたが、口蹄疫の影響で延期し開催されました。

当日は、約100人の来場者が、情熱大陸や崖の上のポニョなど1時間あまりの演奏で芸術の秋のひとときを楽しんだようです。

農業発展の為に若い力を



10月20日、市役所未吉支所で新規就農者支援対策事業認定書交付式が行われました。

この制度は、曾於市の基幹産業である農業を担う新規就農者を確保するため、認定後2年間に渡って毎月5万円から15万円を支援する制度です。今回は、4名(末吉1名、大隅2名、財部1名)が認定されました。

式では、市長から一人ずつ認定書が手渡され、激励の言葉があり、就農者の皆さんは、「自分の目標に向かって頑張ります。」と力強く抱負を述べられました。

脳卒中後遺症ゼロをめざして



11月16日、末吉中央公民館で地域住民や医療関係者約200名が参加して日本脳卒中協会鹿児島支部医療講演会が開催されました。

この講演会は、大隅曾於地区消防組合が主催したもので、「最新脳卒中入門・・・脳卒中の予防と治療・・・」と題し鹿児島大学医学部附属病院救急部助教授の松岡秀樹先生を講師に招き、最近の脳卒中の現状や生活習慣との関係、予防や対処法について講演されました。

曾於市では、末吉に救急分駐隊を配置したことに伴いレスポンスタイム(消防へ通報してから救急車が現場に到着する時間)は大幅に短縮されています。しかし、脳卒中などの1分1秒を争うような疾病の場合、家族や周りの方の初動対応が大きく生死や後遺症発生・回避を左右するなど講演の中で為になる話がありました。

会場も皆うなづきながら真剣に聞き入っていました。

おごじょイベント13回目 地産地消メニューで160名が交流



女性農業者等12名で構成しているおごじょパワー実行委員会が毎年開催している「やる気・元気・おごじょパワーイベント2010」が12月3日、末吉総合センターで開催されました。

今回は、「暮らしの安心・食の安全 おごじょパワーでレベルアップ」のテーマのもと、遠くは薩摩川内市から会場いっぱい参加者を迎え、まず、曾於警察署生活安全課の畦浦悟志さんの「おごじょパワーで安全安心の街づくり!」と題して講演があり、地域みんなで取り組むことが暮らしの安心に繋がりますと強調され、参加者は真剣に耳を傾けていました。又、地産地消メニューがざる盛りで並ぶと、参加者は一品ずつ味わいながら、にこやかに情報交換を行い、会員手作り品のプレゼント抽選会では、当選番号を呼ばれると番号札を手に喜びっぱいにプレゼントを受け取っていました。

下鶴修一さん 厚生労働大臣表彰



11月17日、財部町南俣にお住いの下鶴修一さんが厚生労働大臣からの表彰状を受けたことの報告に市長室を訪問しました。

この表彰は食品衛生の普及向上、食品衛生行政に対する協力及び業界の指導育成等に特に顕著な功績があった方へ贈られるものです。

下鶴さんは、昭和43年、二十歳の頃から42年間この食品指導員という立場で食品衛生普及に尽力されたことが評価されての表彰です。

下鶴さんにお話を聞くと「この42年間財部地域で食中毒の発生が1件も無いことが私の誇りです。地域全体で食中毒を出さないために体の続く限り食品衛生指導を徹底していきたい」と力強くおっしゃっていました。

鹿児島県警察音楽隊ふれあいコンサート in そお

目指そう日本一
安全安心の街 そお！



11月20日、財部きらめきセンターで、「鹿児島県警察音楽隊ふれあいコンサート in そお」が開催されました。

当日は、財部小学校児童によるゴッタン演奏や財部中学校吹奏楽部による演奏、ソオルマンによる「いかのおすしをマスターせよ」等の寸劇等も披露され、警察音楽隊の演奏はもちろん子ども達の演奏にも惜しみない拍手が送られていました。コンサートの最後は、「ビリーブ」を警察音楽隊と財部中学校吹奏楽部の合同演奏に財部北小学校児童による合唱で披露し、観客を更に感動へと導きました。子ども達にとって「警察音楽隊」の方々とのふれあいが良い刺激となったようです。また、駐車場等では、鹿児島県警察による白バイ隊のデモンストレーション走行や警察犬の模擬訓練等が開催され、「安全安心の街日本一」を目指す県警察や曾於市安全安心協会等の活動が紹介されました。

末吉鬼神太鼓が創設 30 周年記念演奏会



11月27日、末吉総合センターで「末吉鬼神太鼓創設30周年記念演奏会」が開催されました。末吉鬼神太鼓は、昭和55年に創設され、これまで地域行事や記念行事等で数々の出演を行うとともに、自主演奏会等も積極的に行ってきました。演奏会は、躍動感あふれる豪快な太鼓の響や篠笛の繊細な演奏、共演の奄美の島唄、津軽三味線などにより来場した観客を日本の音の響でたっぷり酔わせていました。

団長の吉田宏明さんは、「これからも伝統を40年50年と築いていき、地域の元気の源になりたい。」と話されました。

原田悠里・小金沢昇司ジョイントコンサート



12月4日、末吉総合センターで「曾於市自主文化事業 原田悠里・小金沢昇司ジョイントコンサート」が開催されました。原田さんと小金沢さんは、北島三郎ファミリーの一員ですが、このような二人でのコンサートは珍しいと話されていました。おふたりとも、歌唱力はもちろん、おしゃべりも楽しく来場者は、大変感動していました。約2時間のコンサートでしたが、帰り際、来場の方々は、口々に「こんなに感動するコンサートとは思っていませんでした。今日、二人のファンになりました。」と話されていました。また、「これからも、たくさんの音楽鑑賞会を開いてください。絶対、観に来ます。」という声もたくさん聞かれました。

天才てれびくんマックス 曾於市で収録



12月2日から4日にかけて、平日夕方6時20分に毎日放送されているNHK教育番組「天才てれびくんMAX」の収録が曾於市内で行われました。

曾於市内での収録は、この番組の月曜と木曜に企画している「日本全国 ハンコビンゴの旅」というコーナーの中で紹介されるもので、2人のてれび戦士が日本全国の珍しい苗字を探しそのお宅のハンコを貰い、どちらがビンゴをはやく完成させるかという対戦ゲームのコーナーです。

曾於市では、〇〇別府という苗字が多いためいろいろな場所やお宅を訪問し、目的の〇〇別府さんを探す為奔走していました。

旅の途中曾於市の商店街やゆず畑、田園地帯なども散策します。曾於市の子供たちには当たり前毎日見ている風景にとっても感動するあどけない姿がとても印象的でした。

曾於市内の方々がたくさん出演していますし、曾於市がどんな風に紹介されているか見物です。放送日は、1月中旬の予定ですが、決定しましたら有線等でお知らせいたします。どうぞお楽しみに！！

地デジ難視対策衛星放送について

地デジ難視対策衛星放送とは、地上アナログ放送を視聴されていた方で、地上アナログ放送が終了するまでに地上デジタル放送が送られられない地区にお住まいの方に、暫定的に衛星放送を利用して地上デジタル放送の番組をご覧いただくものです。この放送は、デジタル化により地上デジタル放送が難視聴となる方を対象としており、視聴できるのは、「地デジ難視対策衛星放送対象リスト（ホワイトリスト）」の掲載地区にお住まいの方に限定されています。

曾於市内のホワイトリスト掲載地区には、1月以降、総務省 地デジ難視対策衛星放送受信設備整備支援センターの担当者が戸別訪問し説明・設置等行います。この衛星放送は、国からの補助金及び放送事業者からの負担金で運営していますので、無料で利用できます。なお、NHKとの放送受信契約は必要です。

悪質商法にご注意ください。

- 受信設備整備支援によるBSデジタルチューナーの貸与、及び利用料などについてその場で費用を請求することは一切ありませんし、後日請求書をお送りすることはありません。
- 不審に思われる場合は、以下の問い合わせ先または、最寄りの警察署へご連絡ください。

お問合せ先

地デジ難視対策衛星放送受付センター	(☎ 0570-08-220)
曾於市役所末吉支所企画課	(☎ 0986-76-8802)
曾於市役所大隅支所地域振興課	(☎ 099-482-5921)
曾於市役所財部支所地域振興課	(☎ 0986-72-0931)

